



No.54 問題 1/2 名前 _____

今日のルール&コツ

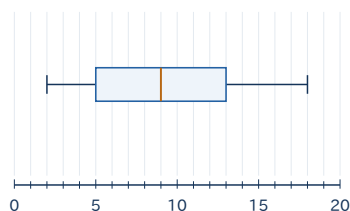
中央値で中心の位置を、四分位範囲で中央付近の散らばりを比べる。
最小値と最大値から全体の範囲も読む。比較する図は同じ目盛りで見る。

よくあるミス注意報

箱が長いほど人数が多い、とはいえない。
平均値や人数は、この箱ひげ図だけでは分らない。

ステップ1 見る | 完全見本

例 5つの値が2、5、9、13、18分。
中央値=9分。範囲=18-2=16分。
四分位範囲=13-5=8分。



ステップ2 なぞる | 2問

- ① 第1が3、第3が10なら、四分位範囲は []。
- ② 中央値は、箱の中の [] 線の位置で読む。

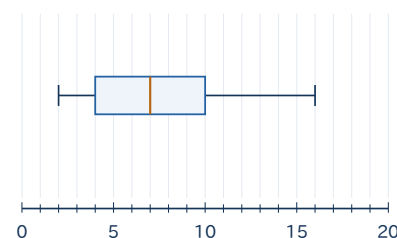
基礎だけ確認 | 4問

- ① 図から人数は分かる？ []。
- ② 図から平均値は必ず分かる？ []。
- ③ 箱の長さが表すのは、人数？ 散らばり？ []。
- ④ 中央値が大きい班は、必ず全員の値も大きい？ []。

ステップ3 自力演習 | ①～④

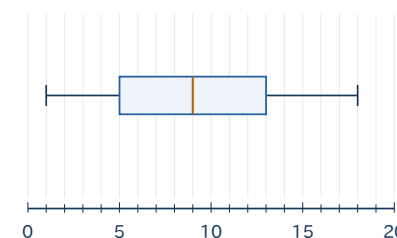
両班の目盛りは共通。読み取れることだけを答えよう。

- ① 下の箱ひげ図から、最小値・第1四分位数・中央値・第3四分位数・最大値を読み、範囲と四分位範囲も求めよう。（単位：分）



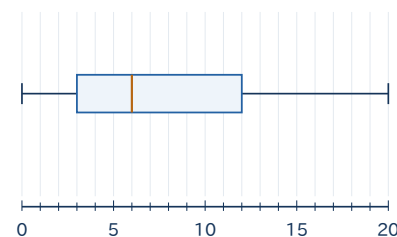
☐ 並び・位置・単位を確認

- ② 下の箱ひげ図から、最小値・第1四分位数・中央値・第3四分位数・最大値を読み、範囲と四分位範囲も求めよう。（単位：分）



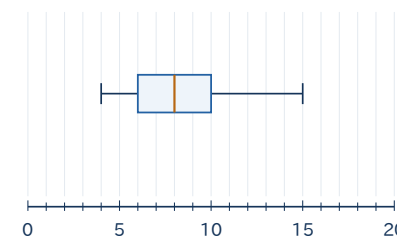
☐ 並び・位置・単位を確認

- ③ 下の箱ひげ図から、最小値・第1四分位数・中央値・第3四分位数・最大値を読み、範囲と四分位範囲も求めよう。（単位：分）



☐ 並び・位置・単位を確認

- ④ 下の箱ひげ図から、最小値・第1四分位数・中央値・第3四分位数・最大値を読み、範囲と四分位範囲も求めよう。（単位：分）



☐ 並び・位置・単位を確認

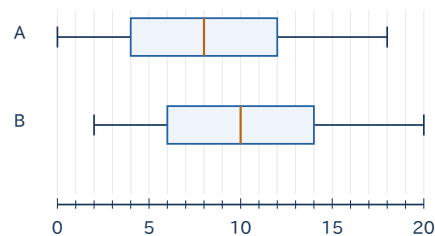


No.54 問題 2/2 名前 _____

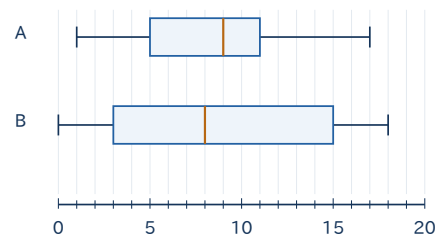
ステップ4 反復演習 | ⑤～⑧

両班の目盛りは共通。読み取れることだけを答えよう。

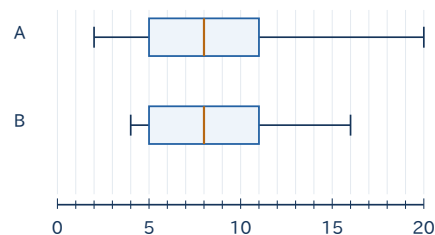
⑤ A班とB班の通学時間を比べる。中央値が大きい班はどちら？ 両班の四分位範囲も求めよう。（単位：分）

☐ 並び・位置・単位を確認

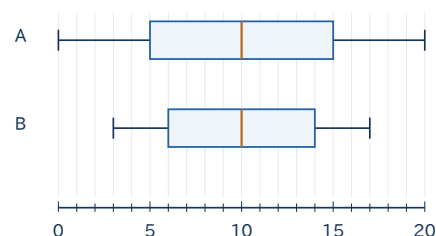
⑥ 中央付近の約半数のデータの散らばりが小さい班はどちら？ 四分位範囲を使って答えよう。（単位：分）

☐ 並び・位置・単位を確認

⑦ 両班の四分位範囲と範囲を求めよう。中央付近の散らばりが同じでも、全体の散らばりは同じ？（単位：分）

☐ 並び・位置・単位を確認

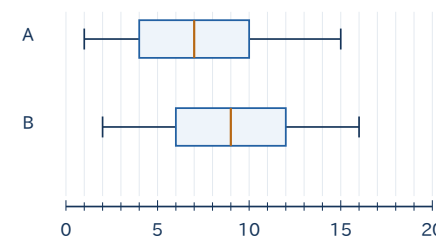
⑧ 両班の中央値は同じ？ 中央付近の散らばりが大きい班も答えよう。（単位：分）

☐ 並び・位置・単位を確認

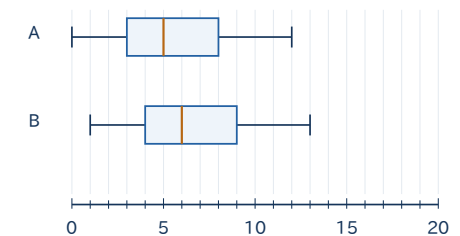
ステップ5 確認演習 | ⑨～⑫

両班の目盛りは共通。読み取れることだけを答えよう。

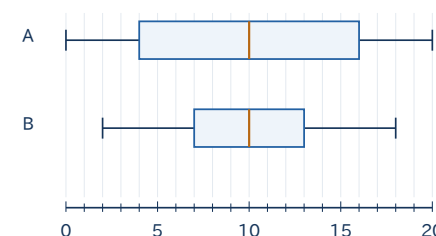
⑨ この図だけから、A班とB班のそれぞれの人数は分かる？ 理由も書こう。（単位：分）

☐ 並び・位置・単位を確認

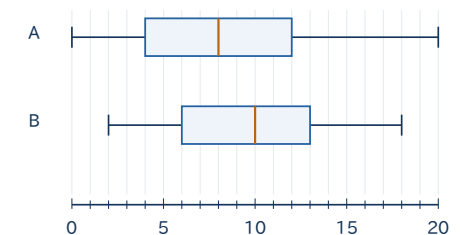
⑩ A班の平均通学時間は5分といえる？ 図に表されている値と区別して答えよう。（単位：分）

☐ 並び・位置・単位を確認

⑪ A班の箱の長さはB班の2倍だから、A班の人数も2倍といえる？ 理由を書こう。（単位：分）

☐ 並び・位置・単位を確認

⑫ B班の中央値はA班より大きい。だから「B班の全員の通学時間が、A班の全員より長い」といえる？（単位：分）

☐ 並び・位置・単位を確認

解答・解説

なぞる① 7 ② 縦の。
基礎① 分からない ② 分からない ③ 散らばり ④ いいえ。

① 5つの値は、2、4、7、10、16分。
範囲＝16－2＝14分。
四分位範囲＝10－4＝6分。

② 5つの値は、1、5、9、13、18分。
範囲＝18－1＝17分。
四分位範囲＝13－5＝8分。

③ 5つの値は、0、3、6、12、20分。
範囲＝20－0＝20分。
四分位範囲＝12－3＝9分。

④ 5つの値は、4、6、8、10、15分。
範囲＝15－4＝11分。
四分位範囲＝10－6＝4分。

⑤ 中央値はA班8分、B班10分なのでB班が大きい。
A班の四分位範囲＝12－4＝8分。B班＝14－6＝8分。

解答・解説 | ⑥～

⑥ A班＝11－5＝6分、B班＝15－3＝12分。
四分位範囲が小さいA班のほうが、中央付近のデータの散らばりは小さい。

⑦ 四分位範囲は両班とも11－5＝6分。
範囲はA班20－2＝18分、B班16－4＝12分。
中央付近は同じでも、全体の散らばりは同じではない。

⑧ 中央値は両班とも10分で同じ。
四分位範囲はA班15－5＝10分、B班14－6＝8分。
中央付近の散らばりが大きいのはA班。

⑨ 分からない。箱ひげ図は最小値・四分位数・最大値を表す。
それだけでは、資料の個数や班の人数は読み取れない。

⑩ いえない。5分はA班の中央値であり、平均値ではない。
平均値を求めるには、合計と資料の個数など、別の情報が必要。

⑪ いえない。箱の長さは四分位範囲を表す。
A班は16－4＝12分、B班は13－7＝6分。
長さの違いは散らばりの違いであり、人数の比ではない。

⑫ いえない。中央値は集団の中央の値を比べているだけ。
A班の最大値20分はB班の最小値2分より大きく、全員についての大小は成り立たない。